

平成22年2月秋田市議会定例会代表質問者順序

秋 水 会 謙 田 修 悦

市 民 ク ラ ブ 相 場 金 二

フ ォ ー ラ ム 2 1 芦 田 晃 敏

社 会 ・ 市 民 連 合 猪 股 竹 作

公 明 党 石 塚 秀 博

1    市長公約（マニフェスト）について

- (1) 市長公約の総括と公約実現に向けた取り組み姿勢について
- (2) 泉・外旭川新駅（仮称）の設置について
- (3) 秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学への移行に関する課題と対策について
- (4) 待機児童の解消について
  - ア 学校や幼稚園の空き教室、空き店舗を利用した取り組み状況と今後の見通しについて
  - イ 認定こども園の設置状況と今後の設置促進について
- (5) 新庁舎建設について
- (6) 入札制度の改善について
  - ア 有資格者数の見直し後の入札状況と今後の動向について
  - イ 建設業者を等級格付する際の主観点の加算の概要と進捗状況について
  - ウ 予定価格の事後公表について

2    平成22年度予算及び今後の財政について

- (1) 平成22年度予算編成に当たっての基本的な考え方と特徴について
- (2) 平成22年度予算において、特に重点を置いた施策・事業について
- (3) 財政調整基金等の見通しと平成23年度を見据えた予算編成について
- (4) 平成22年度末の実質的な市債残高の見込みとそれに対する見解について
- (5) 市民債の発行について

3    地球温暖化対策について

- (1) 温室効果ガスの削減について
  - ア 国が温室効果ガスの25%削減を掲げた背景とそれに対する見解に

ついて

イ 排出権取引のマネーゲーム化の危惧について

(2) 住宅用太陽光発電普及事業について

ア 補助事業の実績と今後の見通しについて

イ 太陽光発電システムの設置費用と費用対効果について

ウ 本市の地理的条件が太陽光発電システムに与える影響と設置効果について

(3) 総合環境センターにおける、太陽光発電設備とＬＥＤ照明器具導入の検討状況と今後の他施設への導入見通しについて

(4) 風力発電の課題とその対策について

(5) 「グリーン電力証書」発行について

4 教育関係について

(1) 全国学力・学習状況調査について

ア 本市における児童生徒の学力の状況について

イ 悉皆調査から抽出調査に変更したことに伴う本市の対応について

ウ 本調査に対する教職員組合の要望について

エ 抽出対象校の抽出方法について

(2) 就業能力を身につける教育について

(3) 市立高校・学院の就職状況と未定者への対策について

5 農業関係について

(1) 戸別所得補償制度について

ア 農家や地方自治体の首長から不評である要因について

イ 本制度のメリット、デメリット及び課題について

ウ 転作作物への交付単価の変更について

(2) 中央卸売市場について

ア 取扱数量が年々減少している要因について

イ 地方卸売市場への転換のメリット、デメリットについて

ウ 地方卸売市場への転換に対する市場内業者の賛否とその対応について

エ 他都市における、地方卸売市場への転換後の状況について

オ 卸売業者及び仲卸業者の経営状況と経営指導について

カ 公債費の償還見通しについて

キ 市場施設の建てかえ時期と財源について

## 6 中通一丁目地区市街地再開発事業について

(1) イトーヨーカドー秋田店の撤退や秋田ニューシティビルの解体などが本事業に大きな影響を与えても、市長の本事業遂行への決意に変わりはないのか

(2) 仮に県立美術館が再開発区域内に移転できなかった場合、本事業はどうなるのか

## 1 市長の政治姿勢について

- (1) 本市のグランドデザインを描くに当たってのキャッチフレーズの一節である「覚悟を決めよ」は悲壮感が漂うと思うが、もっと希望が持てるような市民向けのキャッチフレーズを示すべきではないか
- (2) 市長公約である「市役所新庁舎建設の再検討」の真意は何か
- (3) 秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学への移行を公約に掲げているが、昨今の社会情勢をかんがみるに、十分な環境整備は可能なのか
- (4) 市政運営における庁内の合意形成のあり方について

## 2 財政について

- (1) 平成22年度当初予算について

ア 市債の増発及び財政調整基金の大幅な取り崩しによる編成となっているが、その意図は何か

- (2) 財政規律の確保について

ア 緑あふれる新県都プランに計画されている大規模事業など、将来にわたる財政需要をどう予測し、どのように財政規律の確保を図っていくのか

- (3) 歳入の確保について

ア ふるさと納税制度の意義と評価について

## 3 平成21年度包括外部監査について

- (1) 市立秋田総合病院の財務事務及び事業の管理運営についての指摘事項に対する見解について

## 4 元気、活力のある秋田市づくりについて

- (1) 産学官連携について

ア 産学官連携によるバイオ関連の商品開発をもっと積極的に推進す

べきと思うが、進まない現状をどのように認識しているのか

(2) グラウンドゴルフ場の整備について

ア 健康・体力づくりと活力ある秋田市づくりのため、市民要望の多いグラウンドゴルフ場を旧農業試験場跡地に整備すべきと思うがどうか

5 福祉について

(1) 要介護者の推移と特別養護老人ホームの整備計画について

(2) 在宅介護の実情と家族に対する支援のあり方について

6 国際交流について

(1) 姉妹・友好都市提携の現状と今後のあり方について

(2) 韓国群山市との交流を進めるべきと思うがどうか

7 観光戦略について

(1) インバウンド観光について

ア インバウンド観光の展開では、受け入れがおくれていると思うがどうか

イ 喫緊の課題は「言葉を交わす」ことに対する取り組みと思うがどうか、また、通訳やボランティアガイドの育成はどのようなになっているのか

(2) 文化遺産景観の観光資源としての位置づけと、遺跡物の保管・展示施設の整備について

8 中心市街地活性化基本計画について

(1) 4核1軸構想の推移に対する認識について

(2) イトーヨーカドー秋田店撤退の背景と中通り商業圏の現状について

(3) 秋田駅前北第一地区市街地再開発事業のこれまでの取り組みと今後の対応について

(4) 中通一丁目地区市街地再開発事業について

ア (仮称) にぎわい交流館の中に、サンパル秋田を組み入れるべき  
と思うかどうか

イ 県立美術館移転後は、その跡地に佐竹史料館をメインとした華道、  
茶道、謡曲等の文化の殿堂を建築すべきと思うかどうか

9 冬道の安全対策について

(1) 歩道融雪システムは、交差する歩車道を含めて整備すべきと思うが  
どうか

(2) 住宅地の除雪に当たっては、好評を得ているシャッターブレード装  
着車両の使用を推進すべきと思うかどうか

10 緑のまちづくり活動支援基金を活用した公園の整備について

(1) 本支援基金の有効活用を図り、公園未設置地域を解消すべきと考え  
るかどうか

11 教育について

(1) 本市の教育環境は良好であると認識しているが、現状はどうか

(2) 子供をはぐくむ家庭の役割と地域のかかわり方について

ア 家庭における親の役割の認識について

イ 児童館等の施設整備計画について

(3) 日本の伝統文化に触れる学習をどのように取り入れているのか

(4) 国民文化祭を誘致する考えはないか

(5) 米飯給食をふやすべきとの要望が多いと認識しているが、今後の対  
応はどうか

12 農業について

(1) 高収益型戦略の推進について

ア 土壌環境改良による施設園芸栽培の導入を進めるべきと思うがど

うか

イ 秋田特産ブランドの導入など、高度生産対応の支援を図るべきではないか

(2) 農地・水・農村環境保全向上活動支援事業について

ア 広域農林道や水路の管理にも広く活用できるよう働きかけるべきではないか

(3) 農地の管理について

ア 遊休農地等の管理システムについて、水土里のネットワークを初めとする関係団体と提携して進めるべきと思うがどうか

### 13 中央卸売市場について

(1) 市民の期待にこたえる市場を目指しての秋田市中心卸売市場運営協議会の提言をどう受けとめているのか

(2) 提言にある総合的中核市場とは、地方卸売市場化を視野に入れているのか

(3) 市場の根幹ともいわれる地場産（県産）の取扱量が、東北地方の各市場との比較で極めて少ない原因をどう見ているのか

1 市長マニフェストの完遂について

- (1) 市長の任期４年間に於いて、マニフェストを実現する自信について

2 平成23年度以降の中期的な予算の見通しについて

- (1) 収支見通しについて
- (2) 財政調整基金及び減債基金確保の見通しについて
- (3) 未収金対策の目標及びこれまでの成果について

3 行財政改革について

- (1) 行財政改革の推進に対する職員への陣頭指揮について
- (2) 事務事業等の見直しの基本スタンスについて
  - ア 市民サービスの凍結について
  - イ (仮称) 南部市民サービスセンターを含めた、市民サービスセンター整備構想の凍結について
  - ウ 定員適正化計画の見直しに向けた、組織機構や職制の徹底した効率化についての基本的な考え方について

4 市立秋田総合病院の経営について

- (1) 経費削減対策について
- (2) 医薬品等の管理状況について
- (3) 未収金対策について
- (4) 経営の効率化と増収策について
- (5) 職員給与費及び各種手当等の実態について
- (6) 経常収支黒字化は、目標の平成23年までに達成できるのか
- (7) 経営形態の見直しについて
- (8) 施設の耐震性は確保されているのか

## 5 職員の意識改革と人づくりについて

- (1) 職員の意識改革を高めていく手法について
- (2) 財政危機は行政機構の内側からの危機として、若手職員による取り組みが必要と思うがどうか
- (3) 管理職登用試験の導入について

## 6 環境対策について

- (1) 低炭素革命は、成長戦略となり得るのか
- (2) 本市における低炭素革命を推進するための取り組みについて
- (3) 地球温暖化対策実行計画、新エネルギー導入推進事業及び住宅用太陽光発電普及促進事業の概要とスケジュール及び戦略について

## 7 本市のまちづくり構想について

- (1) 中通一丁目地区市街地再開発事業を推進する市長の決意について
- (2) タウンビークル運行の必要性について
- (3) 持続可能な都市づくりについて

## 8 農業振興について

- (1) 耕地利用率向上に向けた農業生産の取り組みについて
- (2) 農家の不安感を解消するための施策について
- (3) 地元ブランドづくりの取り組み及び戦略について
- (4) 地元ブランドづくりの具体的なスケジュール及び品目の選定方法について

## 9 少子化対策について

- (1) 少子化対策の一環として、婚活支援事業を考えることはできないか

1 秋田市民の生活状況と諸課題について

(1) 働く人の現状について

ア 市内の有効求人倍率、求職者及び失業者の現状はどうか、また、今後の対策はどうか

イ 年収200万円程度で非正規雇用で働く労働者はどれくらいか

(2) 年間228万円の半分に満たない所得しかない低所得者の「相対的貧困率」について

ア 本市の貧困率と実数はどれくらいか、また、全国的に見てどうなのか

イ 子供の貧困率はどうか

ウ 高齢者の貧困率はどうか

エ ひとり親世帯は高い貧困率となっているのか

(3) 資格証明書世帯の高校生・中学生以下の子供に対する短期被保険者証の交付について

ア 資格証明書世帯の高校生が全国で1万647人いるが、本市の状況はどうか

イ 資格証明書世帯の中学生以下の子供に対する短期被保険者証の交付状況はどうか、また、短期被保険者証が届かなかった事例はあるのか

ウ 短期被保険者証発行に伴う費用はどのように負担しているのか

(4) 母子家庭・父子家庭について

ア 母子家庭・父子家庭の現状について

イ 本市の支援策と今後の課題について

ウ 生活保護の母子加算の復活と、父子家庭への児童扶養手当の新設に伴う生活の改善について

(5) 生活保護の現状について

ア 生活保護の受給状況、申請理由、受給者数の推移、全体費用と本

市の持ち出しはどうか

イ 不正受給や医療機関の不正請求などに対するチェック機能はどうか

ウ 国の支出割合をふやす働きかけを強めるべきではないか

エ ケースワーカーの担当世帯数の推移と丁寧な対応のための増員について

(6) 子供たちに対する支援策と学校納付金等の未納状況について

ア 就学援助の受給状況はどうか

イ 修学旅行に行けない児童生徒はいないのか

ウ 学校での給食費の未納状況はどうか

エ 経済的な理由で高校を中退せざるを得ない生徒はいないのか

オ 市立高校生の授業料減免制度の利用の現状はどうか

(7) 求職者や困窮者の支援の状況について

ア 昨年末における取り組み状況はどうだったのか

イ ハローワークでのワンストップサービスを行う考えはないか

## 2 公契約条例の早期制定について

(1) 千葉県野田市での条例制定をどのように受けとめているのか

(2) 根本野田市長から要請文書が来ていると思うが、市長の見解はどうか

(3) 税金で工事などを発注する際、現場の労働者の賃金水準が確保されるようにすべきではないか

(4) 本市でも公契約条例の制定に向けた準備を進めるべきではないか

## 3 都市内地域分権と今後の市民サービスセンターの整備計画について

(1) 市民サービスセンター及び市民センターの所長権限で、公園修繕など一部事業を執行させているが、全市的なバランスをどのようにとっているのか

(2) 業務量と費用対効果から効率的だと考えているのか

(3) 西部市民サービスセンターについて

ア 職員数、人件費、施設の維持管理費について、これまでの施設との比較はどうか

イ 豊岩・下浜の両地域センターが廃止され、コミュニティセンターに移行したが、地域住民からの意見や要望はあるのか

(4) 今後予定している南部・東部・中央の各市民サービスセンター建設費用、合併特例債の金額と建設費用に占める割合、建設計画をどのように考えているのか

(5) 決裁権限のない所長を部長職とする考えはいかなものか

4 合併特例債頼みの事業計画について

(1) 北部市民サービスセンター（仮称）整備事業21億円、中通一丁目地区市街地再開発事業53億円、新庁舎建設事業53億円など、借金頼みの建設計画に不安はないのか

(2) 緑あふれる新県都プランの残り5年余りの計画期間の中で、大規模建設事業はすべて完成できるのか

(3) 全市的に事業の優先順位と事業全体の見直しが必要ではないか

5 子ども手当について

(1) 国が一方的に地方に負担を求めることに対する市長の見解について

(2) 地方負担の具体的な内容について

(3) 市内の対象者数と支給金額について

(4) 目的外使用はできるのか

(5) 給食費や保育料が未納となっている保護者への対策について

6 国民健康保険について

(1) 被保険者が10万人台から7万人台に減る中、未収金が約40億円から約42億円にふえたことに対する認識について

(2) 未収金について何らかの抜本的な対策が必要ではないか

- (3) 国が都道府県に広域化支援方針（仮称）を定めることができるように法改正する方針を固めたとされるが、早期の対策を求めていくべきではないか

## 7 空き家対策について

- (1) 本市の現状はどうか、また、犯罪、火災及び倒壊等の事例はないのか
- (2) 近隣の住民からの苦情件数について
- (3) 対応状況について

## 8 救急体制について

- (1) 救急救命士による気管挿管について
  - ア 研修の実施状況について
  - イ 気管挿管が可能な救急救命士の人数について
  - ウ 気管挿管の事例について

## 9 高齢者に関する交通安全対策について

- (1) 本市の65歳以上の運転免許証保持者について
- (2) 交通事故における高齢者の現状について
- (3) 75歳以上を対象にした高齢者講習について
- (4) 秋田県警の高齢者に対する運転免許証の自主返納に向けた取り組み状況について
- (5) 本市における高齢者の運転免許証の自主返納に向けた取り組みについて

## 10 中通一丁目地区市街地再開発事業について

- (1) イトーヨーカドー秋田店撤退、秋田ニューシティの解体の中で、にぎわいにつながる施設の具体的な利用者数を明示すべきではないか
- (2) 商業施設の縮小により、本事業の根本そのものが違ってくるのでは

ないか、また、商業施設への十分な入り込み客数及びテナント料の黒字は見込めるのか

(3) 駐車場利用台数の見込みはどうか、また、駐車場の収支を具体的にどう見込んでいるのか

#### 11 市債残高を示す借金時計の設置について

(1) 市財政の厳しさを市民に認識してもらうため、市債残高の増減が一目でわかる借金時計の設置が必要ではないか

(2) 設置する際は、一般会計、特別会計及び企業会計のすべてを明示すべきではないか

## 1 市長の政治姿勢について

(1) どこまでも人間から出発する社会、人が輝く社会を基本に置いて課題を分析し、「元気な秋田市づくり」を進めていくことが肝要と考えるかどうか

(2) 新総合計画の策定に当たって、市長が描く活力あふれる本市の将来都市像についての具体的なビジョン及び持続可能な都市経営を実現するための成長戦略の指針となる基本的な柱は何か

(3) 中心市街地の活性化について

ア これまでの施策の延長で、中心市街地に、県都の顔にふさわしいにぎわいを再び創出することはできるのか、また、地価の下落や事業所数、歩行者通行量の減少、小売業年間商品販売額の衰退傾向にも歯どめをかけることはできるのか

イ イトーヨーカドー秋田店の撤退表明を初め、社会経済情勢が大きく変化する中、中通一丁目地区市街地再開発事業の内容に変更はあるのか

ウ 秋田ニューシティ解体後の跡地利用について、市は、地権者や地域住民と積極的にかかわりを持ち、大町地区を魅力ある街へ再生していくべきと考えるかどうか

(4) 県との連携を含めた、経済・雇用対策の取り組みの現状と今後の見通しはどうか

(5) 市長マニフェストについては、社会環境や財政状況の変化に即した柔軟な思考で、総合的な視点から優先度を精査し、市民に対する説明責任と情報公開を果たしながら見直していくことも必要ではないか

## 2 財政について

(1) 平成21年度決算の見込みについて

(2) 財政の健全化について

ア 平成19年度決算以降の決算に基づく健全化判断比率の推移から、本市の財政状況にはどのような傾向が見られるのか

イ 平成22年度予算の編成に当たり、財政調整基金を大幅に取り崩しているが、今後、災害や経済事情の変動による著しい財源不足等の不測の事態が生じた場合、その対策に要する財源をどう確保するのか

ウ 実質的な赤字予算編成が続く財政の現状をどう認識した上で、平成22年度予算を編成したのか、また、将来的な財政見通しと健全性の確保に向けた対策はどうか

(3) 今後の地方交付税の見通しについて

(4) 財務諸表を整備することで明らかにされた財政の実態をどう分析し、その結果をどう活用するのか、また、市民に財政状況をわかりやすく公表することで得られる効果は何か

### 3 防災対策について

(1) 安全安心対策推進本部と防災対策課の統合・再編について

ア 防災安全対策のために、新たに設置される課所室の組織構成について

イ 市民サービスセンターや河辺・雄和両市民センターを含む庁内関係部局との連携の強化及び県との協力体制の充実という面から見た場合、これまでの指揮命令系統と比較して、どのような点が改善され、危機管理体制の強化が図られるのか

(2) 災害時における応援部隊及びボランティア等の受け入れ体制の整備に関するこれまでの具体的な取り組みと今後の方針について

(3) 住民ニーズに沿った防災協定のあり方について、これまでどのような検証、検討を行い、その結果をどう反映させてきているのか、また、被災者の生活救援対策をより円滑に実施するための体制を今後どのように充実させていくのか

(4) 市民の防災意識の向上と災害時の混乱を回避する効果的な取り組み

として、どのような方策が検討されているのか、また、まるごとまちごとハザードマップ事業に取り組む必要性について、どう認識しているのか

(5) 河川整備事業について

ア 新城川を初めとする、市内の重要河川の整備促進に向けた県との連携、協議の状況について

イ 22年度以降計画されている事業の早期完成に向けた、国及び県の予算確保の見通しはどうか

ウ 事業完成までの間、河道断面を確保するため、年次計画で進めている堆積土砂除去や雑木処理の進捗状況はどうか

4 今後の市有施設の整備方針について

(1) 将来にわたる市有施設の維持管理についての基本的な考え方及び具体的な取り組み方針をどう考えているのか、また、既存施設の廃止・統合、縮小、機能転換等を含めた当面の課題は何か

(2) 市有施設については、一元化された維持管理システムのもと、秋田市耐震改修促進計画の目標期間である27年度までに、必要な予算を確保し、できる限り早急に耐震化を進めるべきではないか

(3) 庁舎整備の方向性を決定するに当たって重要となる判断要素は何か、また、市民に開かれた親しみやすい庁舎建設への思いを含め、間もなく方向性を決断する時期を迎える市長の心境はどうか